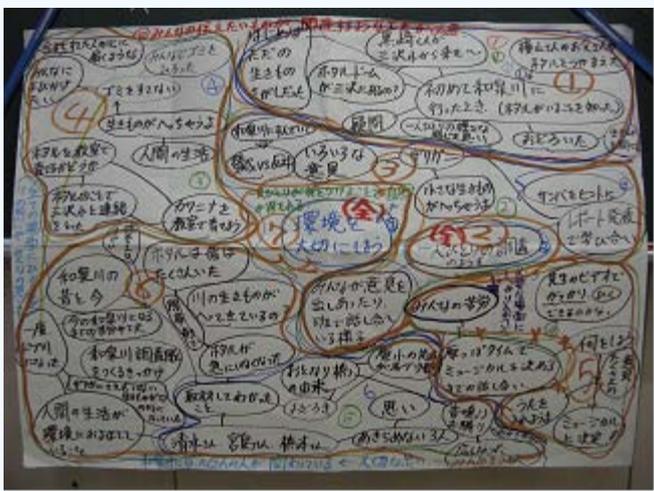


テーマ: 『 自然との関わり合いを大切にした校内環境づくりと、学区の自然を生かした学習材開発 』

横浜市立 原小学校

Tel. 045-362-2020 担当者: 梅津 仁



■実践内容:

地域教材として、区内を源流とする和泉川を取り上げ環境問題をテーマに総合的な学習を5年生ですすめた。まず、十分な川遊びを通して、湧き水の存在や動植物に子どもたちは関心を示していった。そこを出発点として一人ひとりが調べ学習を行い、更に豊かな体験が育まれていった。国語の説明文や伝え合う学習と積極的に絡めて展開していったことにより、一人ひとりの学習が深まり、知の共有化もスムーズに行うことができた。

和泉川の環境のシンボルをホタルと位置づけ、それを軸に川の様々な生き物を環境指標として捉えたり、川を大切に思う地域の人や、川の設計者を招いてインタビューをしたりして、広く深く学習を子どもたちと創っていった。

■実践成果:

子どもたちは、一人ひとりが学習を楽しみ、和泉川とその環境を大切に考えるようになっていった。ホタルが復活できる環境は、川のその他の動植物にとっても、人間にとっても素晴らしい環境になるはずという思いをもった。ホタルの餌になるカワナやホタルの幼虫を育てたり、それらが増えるために川の環境や周りの樹木の様子を考え、ホウの木を植樹したりした。これらの思いは、ミュージカルという手段で学校や地域の人々に伝える活動につながっていった。

■実践ポイント:

実際に和泉川で豊かな体験を十分にしたり、地域の人と積極的に関わることで、子どもたちは学習材にたいして、親しみと明確な課題をもつことができた。この思いは、ミュージカルを創って伝えるという活動で、さらに内容が深まり、大人になっても忘れないであろう強く印象に残る学習になった。